交流集会10　体験してみよう！腎代替療法やACPに活用できる「聞き書き」
「聞き書き」事例：模擬患者　**語り5分**

場面：治療とともに生きるか？腎代替療法選択を想定した場面の語り

患者名：山田とし子（仮名）　年齢：68歳　女性

診断：慢性腎不全（ステージ5）

既往歴：高血圧、糖尿病（15年以上）

家族構成：次男夫婦ならびに孫と同居、夫は5年前に他界

生活状況：ガーデニングが趣味で、庭で過ごすことを楽しんでいる。家庭では次男夫婦が支えてくれているが、家族に負担をかけたくないという気持ちが強い。

診療経過：腎機能が低下し、腎代替療法（透析または腎移植）の選択が必要と説明されている。透析への不安と、生活の変化に対する戸惑いがあるが、これまでの生活を続けたいと思っている。

看護師：「山田さん、今日はお時間をいただきありがとうございます。主治医の先生から腎機能について詳しくお話をされたと思いますが、いかがでしたか？」

山田：「3年前に市の健診で蛋白尿とクレアチニンの値が高いと指摘されました。その時は、特に自覚症状もなかったですし、年相応の疲れは多少、感じていたと思います。」

看護師：「そうだったんですね。疲れがあっても頑張ってこられたんですね」

山田：「長年勤めた仕事も終わりに近づいていて、退職を控えていた年でしたし、後継者に引き継ごうと必死でした。若いころ・・・そうね、20代ごろかなあ・・ボディビルが流行っていて、日焼けしてね・・・ジムに通っていまして、体力には自信があったんです。（笑）」

看護師：「ボディビルなんてすごいですね。若い頃の写真を見てみたいです。（笑）」

山田：「今思うと、あの頃は大会で賞がとりたくってね。プロテインばかり飲んでいたわよ。それが腎臓を傷めつける原因だったのかしら・・・　今思うと、随分無茶をしていたのよね。」

看護師：「そんなに頑張っていらっしゃったんですね。先生のお話を聞いて、いかがでしたか」

山田：

「そうですね、先生に『透析を始めないといけない』って言われて…。ずっと病院には通っていて、悪くなってきているのはわかっていたけれど、いよいよかって感じでショックです。透析って、毎週病院に行って大変だって聞きますし、正直不安ですね。」

看護師：

「そうですよね。透析と聞くと不安になりますよね。山田さんは今まで腎臓を守るために、いろいろ頑張ってきましたもんね。食事管理も頑張ってこられて、本当にすごいと思います。」

山田：

「ええ、減塩とか食事には気をつけてきました。高血圧があるから、特に塩分には気をつけて、次男のお嫁さんと一緒に献立を考えたりして…。でも、結局透析を始めなきゃいけないなんて、何だか今までの努力が無駄だった気がして。」

看護師：

「無駄だったと思うんですか？。山田さんが減塩や食事管理に取り組んでこられたおかげで、腎臓の働きがここまで維持できたん出来たんじゃないでしょうか？お嫁さんと一緒に頑張ってきた結果なのかなと思いますが、どうでしょうか？。」

山田：

「そうですね。そう考えると、減塩頑張ってきたからまだ透析に入らずに済んでいるんだと思います。お嫁さんも本当に助けてくれて、献立だけじゃなくて、庭で一緒にガーデニングも手伝ってくれるんです。庭いじりをしていると、気持ちが落ち着くんですよね。これからもできれば庭いじりを続けたいんですけど、透析が始まったら、できるかどうか心配です。」

看護師：

「ガーデニング、素敵ですね。透析が始まっても、ガーデニングも楽しめる方法を一緒に考えましょう。お嫁さんとも仲がいいんですね。」

山田：

「そうですね。お嫁さんにいつも感謝されるんですよ。『お母さんが子どもの面倒を見てくれるから、本当に助かる』っていつも言われて。私も孫の世話をするのは好きだし、次男のお嫁さんにも負担をかけたくないし、私の役目だと思ってるんです。」

「最近、よく『人生100年』って言いますよね。でも、私もあとどれくらい元気に過ごせるのか、少し心配になることがあります。透析を始めれば、あと10年は元気にいられるかしら…。」

看護師：

「そうですよね。先のことが不安になりますよね。でも、山田さんのように前向きに頑張っている方であれば、治療しながら日常生活を楽しむこともできると思いますよ。透析はしっかり続けることで、お元気に生活を続けていらっしゃる方も多いですしね。」

山田：

「そうですか。それなら少し安心しました。でも、透析って食事の管理も色々気をつけないといけないんですよね。今でも減塩など気をつけているけれど、透析が始まったら、もっと大変になるのかと思うと…。次男夫婦にお世話になるのも、これ以上は気が引けるし…。」

看護師：

「確かに、透析をすると食事の面で気をつけることも増えますが、山田さんは今までもご家族と一緒に工夫しながら頑張ってきましたよね。透析もそのおかげでスムーズにできると思いますよ。山田さんはどう思われますか？」

山田：

「そうですね、考えてみれば、ありがたいことにお嫁さんも協力してくれて、うまくやってきましたものね。家族が一緒に支えてきてくれているって感じかな。それに、自分の好きなガーデニングができるっていうのは、生活の張り合いになりますし…。確かに、透析は不安だけど、まだまだ68歳だものね。これからも長生きしたいです。」

看護師：

「そうですよ、山田さん。68歳、まだまだこれからですから。私たちも、山田さんのこれからの生活に合わせて、安心して透析できるようにサポートしていきますね。」

山田：

「ありがとうございます。前向きな気持ちが湧いてきました。これからも、家族と一緒に楽しみながら過ごせるよう、透析について家族とも相談してみますね。」